

夏号
第330号

一粒の麦

社会福祉法人エデンの園

2023年7月22日

ひとつぶのむぎ



**空き缶の仕分け作業を
されています！**

聖書のことば

一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままです。
しかし、死ぬなら、豊かな実を結びます。(聖書 ヨハネの福音書12章24節)

～変化を楽しむ～

エデンホーム森永 管理者 光 森 勇 人

今年度よりエデンホーム森永の管理者になり、一つの事業所を切り盛りしていく大変さ、お住いの利用者さんや働く職員の人生を預かっているという責任を日に日に感じています。そのような重圧の中も、利用者さんから「今日〇〇があったよ」「●●がおいしかった」と話しかけていただくと、心が癒され、“仕事がんばろう”と改めて思えます。

さて話は少し変わりますが、当法人の総従業員数がここ数年で急速に増加しております。私が働きだした10数年前は60名程度でしたが、今は120名を超えてきました。事業所が増えてきたことも大きな要因ではありますが、それに比例するように従業員も増えてきています。人材難と言われていた福祉業界の中で、エデンの園にはありがたいことに就職希望者が来て下さるため、どの事業所も職員は充足し、働く職員に無理な勤務などを強いる事はありません。しかし、職員が多くなってくことで問題になるのが、人材育成です。最近では人材の“材”を“財”と表現されることも多く、働く職員も会社の財産であると言われてきたようになってきました。

エデンの園も例に漏れず人材育成に苦労している現状があります。新任職員研修や階層別研修、職場内研修や外部研修派遣などバリエーションの飛んだ研修スタイルをここ数年で確立させつつあり、法人内の“学ぶ風土”は養われてきたようにあります。一方で、OJTと呼ばれる実務を通じての教育指導が難しくなっている現状も見られます。教える側の先輩職員の経験不足や技術不足も要因ではありますが、習う側の後輩職員が多様化してきたことも挙げられます。入職してくる職員の年齢層が幅広くなってきており、後輩職員が年上の方や前歴経験のある方も増えてきて、教育指導に

苦慮するケースが増えてきました。

“今どきの若いやつは…”という言葉が昔から言われますが、これはエジプト文明の頃から言われているという文献を目にしたことがあります。このフレーズはどの時代も言われていることであり、私自身もそう感じるが増えてきて、自分が老いてきたんだなとしみじみ感じることもあります。しかし、現代の世の中では、少し変わってきていることも感じます。若くても意欲的に学び、学んだことをフィードバックでき、そして考えや意見を持っている職員もいれば、数々の人生経験をされてきているだろう方もいざ業務や支援を教えていくとなかなか実行できない職員もいます。そういった年齢や経験だけではその人のキャパシティーが測れないが増えてきており、教える側・管理する側も見極めながらケースバイケースの教育指導を行っていかねばなりません。従来のマニュアルや手順書にプラスαでその人に合った指導方法が求められてきています。

様々なジャンルでも“多様性”という言葉が叫ばれ、福祉業界でも障がいの多様性の中で“利用者一人ひとりに合った支援”“合理的配慮”などが言われていますが、人材育成の場面でも“その職員に合った教育指導”が必要なのではないかと感じます。



(それぞれの事業所からのご挨拶)

エデンの園 第1福祉課

●エデンの園

七夕にお願いしました

6月の下旬から、各エリアで七夕の飾り付けがはじまりました。皆さん、職員さんと一緒に「何をお願いしようかな」と考えられていました。

れんげエリアでは、短冊に利用者一人一人がお願い事を書き笹に短冊を掛けていました。自分の行きたい場所、食べたい物等、思いを込めて短冊に書かれていました。また、七夕まつり開催に向けて製作をみんなで行いました。

障がい者福祉施設エデンの園 生活支援員 宮 永 康 平



●エデンホーム三名

七夕飾りを作りました♪

いよいよ梅雨も明け、夏本番が近づいてきました。今年は利用者と職員と一緒に七夕飾りを作成し、一人ひとりの願い事を書いて、玄関に飾り付けを行いました。未だ尚続くコロナの影響や、これから真夏にかけての暑さなど、大変なことが多くありますが、この七夕飾りに記入した内容が少しでも叶うように全員で楽しいホーム作りを続けていけたらと思います。

生活支援員 保 利 翼



● エデンの園 ふれあい



「素敵な歌声」と「おしゃれなお菓子」で楽しい時間となりました。

いよいよ夏本番の季節となりました。ふれあいでは、6月行事として「カラオケ大会&カフェ」を開催しました。カラオケ大会は多目的ホールにて、マイクやスピーカー等の音楽機材を使用しながら実施しましたが、利用者さんに自慢の歌声を披露していただいたり、職員の歌やダンスを見て楽しむ等、大盛況で終了しました。

午後からはカフェの時間として、宮崎市にあるお菓子屋さん「ドイツ菓子カラカス」にてエクレアを購入し、事前に選んでいただいた2種類の味を楽しめました。利用者さんからは、「クリームが美味しいね」「初めて食べた」「とてもおしゃれ」等の言葉が聞かれ、ゆったりとした時間を過ごしていただきました。今後も暑さに負けず、利用者さんとともに日々の活動を楽しんでいきたいと思ひます。

エデンの園ふれあい 生活支援員 北川 洋子

エデンの園 第2福祉課

● 就労継続支援 B型事業所 つむぎ

就労継続支援B型事業所 つむぎです！

就労継続支援B型事業所『つむぎ』では、様々な作業を行い、利用者の方々は工賃を得ています。例えば、法人内外の洗濯物たたみや除草作業、清掃作業や農作業などです。

そんなつむぎの作業に5月から新しく宮崎公立大学の清掃作業が加わりました。毎日数名の利用者さんと職員で清掃作業を行っています。段々と作業に慣れてきたことで、清掃場所が増えることになりました。また、公立大学で作業できる利用者さんも少しずつ増えてきており、中には公立大学での作業に新しく行くようになることを伝えると張り切られる方もいらっしゃいます。

今後も、地域社会と繋がりながら、働くことを通して生きがいを持ってもらえるよう利用者さんと関わっていきたくと思ひます。

職業指導員 渡部 強士



● エデンホーム森永(青い鳥・ほのか)

スイートコーンを頂きました!!

7月に入り、暑さの厳しい日が増えてきました。エデンホーム森永では、夏の風物詩であるスイートコーンを頂きましたので、利用者さんたちに提供しました。「丸々1本で食べたい」とご希望がありましたので、切らずに1本ずつ提供し、食べ辛そうな方には、芯から身を取り提供しました。皆さん「おいしい」ととても満足されておりました。これから夏本番となっていく中で、夏らしいイベントや食べ物を提供していけたらと思ひます。

エデンホーム森永 サブリーダー 緒方 敬士



●放課後等デイサービス 麦わらぼうし

久しぶりの家族懇談会を行いました！

6月24日は2年ぶりの家族懇談会。「お久しぶりです～」と、笑顔で再会を喜び合う方々や初めての参加に緊張した面持ちのご家族など懐かしい光景がありました。懇談会では、互いの自己紹介やお子様の気になることなどを共有していただきました。家庭によって子どもの姿や困っていることはそれぞれ異なりますが、一人の話に皆が耳を傾け、悩みを分かち合いました。会が終わると更に話が弾み、家族が思い思いに話をされている光景がとても印象的でした。少しずつ繋がりや交流の機会を取り戻しながら、家族の育児の一助になりたいと思います。

放課後等デイサービス麦わらぼうし
児童発達支援管理責任者 鈴木法子



法人本部事務所ご紹介



令和5年5月30日、法人本部事務所が完成いたしました。本部事務所内には、同6月1日よりびえんと居宅介護支援事業所も移設しました。以下のようにお問い合わせ先が変更しましたので、ご確認ください。

○法人本部へのお問い合わせ (0985) 65-6685

○障害者支援施設エデンの園へのお問い合わせ
(0985) 75-4936

○びえんと居宅介護支援事業所へのお問い合わせ
新所在地：宮崎県東諸県郡国富町大字三名2621番地5
電話番号：(0985)75-0555 Fax番号：(0985)75-0554



相談支援の窓から ～その20～ エデンの園相談支援事業所 荒川 英之 管理者

想像すること

入職して数か月が経ちました。ハサミの置き場所から掃除の仕方まで、周りの方々に聞きながらでしたが、少しは慣れてきたようです。何かと教えて頂いた皆様、本当にありがとうございます。また、色々な方のちょっとした声掛けや表情で、ふっと安心した気持ちになれたことも何度もありました。

前職では障害のある方の就労支援の仕事をしていましたが、就職した方の、新しい環境の中での緊張や不安を、本当には想像出来てはいなかったと、自分の体験を通して、改めて気付かされたところです。就労の支援では、就職することよりも、働き続けることに大きな課題があると言われるますが、緊張や不安、疲労、置かれた状況など、目には見えにくいものを、もう少し想像出来ていたら、もう少し共有出来ていたら、また違った関わりも出来ていたのではないかと感じています。

とは言え、自分に余裕がなかったり、所属組織の立場を勝手に思い込んだり、効率的に物事を進める為に自分の考えややり方を優先させたい気持ちが強くなったりすると、途端に、他の人へ思いを巡らすことが出来なくなってしまいます。後になって、やっと気付かされることは実際は多くて、もう少し早く、想像することが出来ていたら良かったのと思う日々です。

仕事をしていく中では、目には見えにくく、言葉では言い表し切れないものに関わっていくことも多いです。その全てを想像することは出来ませんが、変化し続ける状況の中で、何かを感じ、余裕を持って、ちょっとした声掛けくらいは出来る人ではありたいとは思っています。

土曜学校メッセージ

金桓基牧師（宮崎めぐみ教会）、印慶子牧師（宮崎柳丸キリスト教会）、
荒平大輔牧師・海老原直宏牧師（宮崎北聖書キリスト教会）、
山口英希牧師（宮崎清水教会） 浅野謙牧師（きりしまキリスト教会）

Facebook・HPのご案内

社会福祉法人エデンの園では、季刊誌『一粒の麦』だけでなく、FacebookやHPも開設しております。利用者さんの日常やイベントなどが随時配信されていますので、ぜひご覧ください。



寄贈品・寄附金ありがとうございます。(5月～6月)

一政設備様、野元あゆみ様、コスモ設計様、外山優子様、森工務店様、マキタ福祉用具様、高井様、落合様、宇留島様、上野様、今村僚子様、ライフサポート様、内山秀子様、白岩亮子様、野田様

編集後記

梅雨も明け、本格的に夏本番になってきました。コロナも終わりが見えず、また暑さによる熱中症等の報告もニュースなどで多く挙がってきています。これまで通りマスク着用・手指消毒には十分配慮した上で、定期的な換気と適度の水分補給をして、暑さに負けず、そしてコロナに負けず今後とも法人全生活支援員 保利 翼